

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーは分かちあいの心
RI 会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン
Rotary Shares



見詰めよう四つのテスト
富津中央 RC 会長 大網庄一郎

2007～2008

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2041 第19回例会 2007. 11. 15 晴

点 鐘:大網 庄一郎 会長
進 行:三平 榮男 副SAA
ソング:手に手つないで

“山の景色は鹿野山CC、海の景色は随円CC”
本日もよろしくお願ひいたします。

会長挨拶

大網 庄一郎 会長

皆様こんにちは。一昨日第4分区の親睦ゴルフ大会が行われました。

ホストクラブ 富津RC
場 所 随縁CC竹岡コース
参 加 者 36名 (当クラブ 4名)
当クラブで賞品を貰った会員
永島会員 6位
石渡会員 ドラゴン

三平会員と私は参加することに意義を感じました。
来年は、いよいよ当クラブの番です。

ところで、会場であるゴルフ場は竹岡の高台にあり、富士山、対岸の神奈川県、そして東京湾が一望できる場所です。この日は晴天に恵まれ、言葉では表現できないすばらしい景観でした。参加者一同溜息、また溜息でした。

なお、一般の人でもレストランを利用できるそうです。天気の良い日を見計らって、一度は行ってみたいかどうか。

幹事報告

原田 雅式 幹事

1. 第 31 回ライラセミナー開催のご案内
社会奉仕、新世代育成委員長からきております。

日時:平成 20 年 2 月 22 日～24 日 2泊3日
場所:船橋市立一ノ宮少年自然の家、
登録費:1名につき、18,000円

尚、参加者なしのクラブについては1名分の登録費の寄付をお願いしたい。

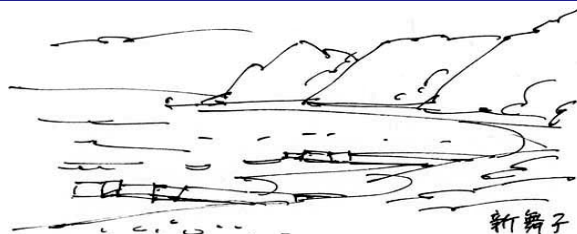
2. RI 第 2790 地区、第 22 次 WCS 支援
視察のご案内。地区 WCS 委員長から。
経路:マニラ～セブ～ダバオ～マニラ～成田。

期間:2008 年 1 月 17 日～21 日 5日間
旅費:お一人様、168,000円
締め切り:11 月 30 日。

3. 例会変更のお知らせ。

木更津東 RC から
日時:12 月 19 日(水)点鐘18:30分
場所:ホテルロイヤルヒルズ八宝苑
内容:クリスマス家族夜間例会、

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館
Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304



4. 上総 RC から週報頂きました。
5. 君津 RC から 35 周年記念誌頂きました。

会員卓話

原田 雅式 会員



江戸の豪商、三衛門

今年の地区大会のことです。ロビーで芸術作品を見ていました。たしか、茂原 RC の方だと思っておりますが、般若心経の 2000 写経達成、という展示がありました。1998 年～2006 年迄の 8 年で成し遂げた苦勞の大作、よく頑張った、というか、すばらしいですね。そこで、般若心経の第一人者でやさしく解説している方を紹介したいと思います。

この方の生き方がユニークなんです。

公方俊良（くぼうしゅんりょう）さんについて、少しお話をします。

{プロフィール}

昭和 16 年、京都生まれ、中央仏教学院卒業

(株) 田辺経営相談所勤務、その後、昭和 50 年
(株) 経論出版設立 (社長) 昭和 62 年 蒼竜寺
建立 (姫路市) <代 41 世貫主>

現代仏教界の第一人者です。仏教の講演を年間 150 本、出版した本 70 冊、

1. 公方さんは 4 才で母を亡くし、29 才の時、父も亡くす。その時お父さんが、枕元で公方さんにこれを守ってくれと、渡されたの

が 1100 年続く、家系図だった。その時、「私の使命は、両親とご先祖様の供養だ」と思い。そうだ寺を建てよう、一大決心をするわけです。35 才で独立、寺を建てる資金を 7 年がかりで貯めたわけです。

資金はできた、そして、その間住職になる勉強もして、資格も取りました。しかしどうして生活していくか？

2. そこで、師匠である、盛岡の関大徹和尚に相談。

この方は、はだしの聖者といわれ、冬でも足袋をはかない、今世紀最後の聖者といわれた方です。「寺はできても食っていきません、どうしたらいいのでしょうか？」

和尚が言いました、「考え方が間違っている、寺は食うところではない、もし寺に入り、一粒の米もなくなったら、誰を恨むことはない、静かに死んで行けばよい」。そこで公方さんは、「わかりました私が間違っていました。」と、そこで会社を辞めました。

3. 座禅をして自己をみつめた。「二度とない人生どう生きるか？」

そうしたら、二つのことが見えてきた。仏教と経営です。

経営者には仏教が分からない。坊さんには経営が分からない。

今では、「仏教と経営」のセミナーを年間 150 本位しているということです。

鳥辺 (0-11P)

N02

般若心経

般若心経の中に面白い事が書かれているんです。

1. 実は、これは知恵の経典なんです、色即是空、空即是色 中にこういう一文があるんです。

仏教では、すべての欲望を1字で表しています、そうです色です。

色 即是 空 即是は意味が無い、これすなわちと言う。

「欲望を追求する経営はむなしい」

これが、般若心経の核心の部分なんです。

2. もう一つ、不生、不滅、不垢、不浄、不増、不減（ふく）

不が6つあるので、六不（ろっふ）の教えといます。

経営の六つの不安をなくしなさい。という教えです。

- ① 不生 生き残らねばならない、厳しい環境の中で、生き残らねばならない、新商品を作る、新事業を立ち上げねばならない。
- ② 不滅 ひょっとしたら、うちの会社はつぶれるんじゃないか？この事業がだめになるのでは？
- ③ 不垢 短所です。うちは営業が弱い、企画が弱い、人が多すぎる。
- ④ 不浄 長所です。うちは大丈夫だ。慢心、おごりです。
- ⑤ 不増 売り上げを伸ばす、利益を上げる。
- ⑥ 不減 売り上げ減ったらどうしよう？利益が減ったらどうしよう？

これを、我執（がしゅう）といます。

自分への囚われです。自分が！ 自分の会社が！

そこで、この見本のような生き方をした三人を紹介します。

江戸の豪商、三衛門です。

N03

紀伊国屋文左衛門

1669年(寛文9年)～1734年(享保19年)66才

1. 商家、松木屋の娘、(綾野)と知り合い、松木屋で働く、やがて綾野と恋仲になる、主人が出した条件を満たせば、綾野との仲を認めるという。

その条件は、「千両を元手に、1年で2千両にせよ」とのこと。

2. 元禄時代は台風の当たり年で、江戸ではふいご祭りのみかんが不足していた。紀州(和歌山)ではみかんがあまっていた。

3. 嵐の中ぼろ船に命がけでみかんを積み、江戸に運ぶ、帰りの船には塩シャケをつんで上方(大阪)へ

4. このみかんの運搬で2千両(今の2億～2億5千万円)儲けたという。

5. 八丁堀に材木商を開く、その後、老中柳沢吉保に取り入り、幕府のご用達商人となる。上野寛永寺や下総国、香取神社の普請を請け負う。

6. 材木商で巨万の富を生み、吉原で豪遊した(紀文大尽と呼ばれた)

7. 1700年(元禄13年)老中、柳沢吉保が引退し、材木商として幕府御用達の特権を奪われ、商売が不振となる。

8. その後、深川木場の大火災があり、材木を焼失し、材木商を廃業する。

9. その全盛時代はぜいたくの限りをつくし、トイレの落とし紙(トイレペーパー)にも金箔をほどこした、といわれている。

10. 深川八万(現在の門前仲町1丁目)に住み、晩年は非常にみじめであったと記録に残っています。

N04

奈良屋茂左右衛門

1662年(寛文2年)～1714年(正徳4年) 62才

通称： 奈良茂 (ならも)

本名： 神田勝豊

1. 宇野屋、という材木問屋に奉公し、28才で材木商として独立。
2. 将軍綱吉が寺社造営に力を入れ、これを契機に幕府御用商人となる。(日光東照宮の建築で莫大な財産を築く)
3. 吉原で豪遊した話は有名
4. 子供が二人おり、兄広隣(こうりん)、弟勝屋(かつや)
5. この二人が仕事をしない、吉原通いが止まらない。
6. 親の背中を見て育つと、よく言ったもので、二人の子供の遊びぐせが直らない。
7. そこで、茂左衛門は、二人の子供が家賃で食っていけるように貸家を残してあげようと思ったわけです。(戸建の貸家を数十戸)
8. 親の亡くなった後も、子供は遊び癖が抜けず、貸家を売り食い状態で、ついには、つぶれたそうです

N05

越後屋八郎衛門高平 (本名、三井高利)

1622年(元和8年)～1694年(元禄7年)73歳

1. 日本橋呉服店開業(1673年)
2. 兄は、西陣で仕入れを、弟高富は店の番頭に、
3. 当時は行商が主力であり盆暮れ決済が普通である。これを棚先売り(店頭販売)に切

り替えた。

4. 現金掛け値なし、掛売りお断り、値引きもしないが吹っかけもしないという。
5. 切り売りもします、お仕立てもします。
6. 門前人をなす、(行列のできる店)
7. 江戸の呉服商が売れなくなる。
ねたみ、うらみあり、西陣に圧力をかける、越後屋に品物を、売らないでと。(西陣の業者は、越後屋だけと取引しますと)
その後、全国から呉服商が越後屋に買い物に来る。
(当時は各藩の藩札であり、本店隣に両替商を出す。)
10. 後の 越後屋：現在の三越デパート
両替商：現在の三井住友銀行

*「世のため、人のため、お客さんのために」
こういう考え方だと
商売も末代まで続くという、お話でした。
終わり。



委員会報告

ゴルフ親睦会および日帰り忘年例会について

三井 進 親睦委員長



ゴルフ親睦会のご案内

12/29(木)は、18:30 からの夜間例会になりますが、それに先立ちハーフゴルフ親睦会を開催する予定です。

日時:11/29 13:00 頃スタート予定

集合:次週報告します

費用:メンバー3,000 円

ゲスト 2,000 円

日帰り忘年例会のご案内

親睦委員会では、12 月に日帰り忘年例会を企画しています。

現在のプランは

【コース】

12:00 当地発

13:00~16:00 寄席見学

18:00~19:00 銀座で食事

19:00~ 都内イルミネーション見学

21:30 帰着 貸し切りバスで

【費用】 1 万円程度

【日時】 12/20(木) or 12/15(土)

ニコニコ BOX

永島 強 親睦委員

永島 強 分区親睦ゴルフ大会で入賞させていただきました。

小野恒靖 駐車場にありましたので。

原田雅式 卓話をさせていただきました。

* >1,000 円 合計 2,100 円

出席報告

白石 幸久 出席委員

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	19	17	2		89.47
前回	19	17	2		89.47

近隣クラブ例会日(括弧書き以外 12:30)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30)
水	木更津東、富津シティ
木	上総、木更津

君津 RC ホテル千成 0439-52-8511

袖ヶ浦 RC レストランすずとみ 0438-60-1129

富津 RC 山の上ホテル 0439-67-0388

木更津東 RC ホテルロイヤルヒルズ八宝苑
0438-23-0211

富津シティ RC ホテル喜楽館 0439-87-4126

上総 RC 割烹旅館山徳 0439-27-2003

木更津 RC 東京ハイプラザホテル 0438-25-8888

会員投稿

ある宗教学者の講演から

－ 宗教的情操について －

千葉 一利 会員

先日、全国退職校長会の会報(165号)を見ていましたら、本年度の総会の記念講演「日本の教育と宗教的情操」と題した宗教学者、山折哲雄さんの話の要旨が載っていました。難しい事は、わかりませんがちょっと興味を引いたのでその一部を紹介します。

その 1、山折さんは、先ず最初に宗教的情操は、教育上大切な要素であると言っています。信教の自由が保証されているので、ちょっと危険に見えますが、各宗教共通の要素は、しっかり教える方が良いと言うことでしょう。さらにそれを古典の学習に求めています。万葉集・源氏物語・平家物語です。

万葉集は、今まで愛の歌が多く取り上げられていたようですが、死者を悼む歌も沢山あり、それを取り入れてほしいと言うのです。源氏物語は、ものあわれが主に扱われていますが、ものの怪にも関心を持たせる事、さらに平家物語は、個々の人間の運命や生き様ばかりを扱うのではなく、作品を流れる無常感を学習する必要があると言うのです。

私は、古典が苦手によく読んでいないのでわかりませんが、情操教育上古典の学習は、大切かも知れません。



その 2、山折さんは、20 年も前の事ですが日韓フォーラムと言う国際会議に参加されたそうです。日本と韓国の歴史・政治・経済・宗教など各分野の専門家が集まり、活発に意見を交換しあったそうです。その時の懇親会の席上で、韓国宗教学者、李箕永さんと話をする機会がありました。李さんは、「自分は、日本人がとても羨ましい。なぜなら、日本人の心に仏教の信仰が行き渡っているから」さらに「韓国は儒教社会で、ほとんどが儒教の考え方に基ついて社会が成り立っている。仏教を研究している自分は、本当に寂しい。」と、山折さんは「日本人に仏教が浸透しているとは、どうてい思えない。現に自分は無宗教だと思っている人が沢山いる。特に知職人と言われる階層に多い」李さん「日本人は、日常的に例えば『夕焼け小焼け』の童謡を歌っている。その中に仏教の根本的考え方がすべて歌い込まれている」と。

この会議終了後、山折さんは、この童謡の意味を考えてみたそうです。

夕焼け小焼けで日が暮れて

山のお寺の鐘が鳴る

お手々つないでみな帰ろ

鳥も一緒に帰りましょ



一行目は、夕日の彼方に極楽浄土あるという、夕日信仰(落日信仰)で、人間の死後の世界を想像し、それを楽しみに現世を生きるという

ことで、絵画・文字・演劇・謡曲など、各分野で扱われているそうです。



二行目は、山岳信仰です。奈良時代の仏教は、貴族など上流社会のいわゆる学問仏教で、平安初期に最澄が比叡山に、空海が高野山にそれぞれ天台宗・真言宗を開き、死後の魂が山頂に宿するという山岳信仰ができたそうです。

貴族から庶民へ、町から地方に仏教は広まり、また深山はよい修行の場所でもあったようです。その山寺の鐘の音を聞いて生活していたわけで、山岳信教が人間といかに結びついてきたか、理解出来ると言う事です。



三行目のお手々つないでは、人は帰るべきところに帰ろうという考え方です。『帰りなん、いざ田園まさに荒れなんとす』4世紀の詩人中国の陶淵明の「帰去来辞」思想で、これがいかに多くの人の心を掴んだか、又仏教をはじめ各分野に及ぼした影響は極めて大きかったと言われています。



四行目は、昔、鳥は子供の良きパートナーで、その鳥と一緒に帰るべきところに帰ろうという『共生』の考え方だそうです。福田総理も同じ様な事を言っていますが、彼は本当に敬虔なる仏教徒でしょうか。

このように、夕焼け小焼けは解釈できるそうですが、作詞の中村雨紅は、はたしてそのような仏教的意図で作ったかその辺は、定かではないそうです。ただ、中村雨紅は、大正10年前後の童謡運動を起こした一人であると言う事です。



その他では、『赤とんぼ』があげられこれは、三木露風の作詞です。これも同時代のもので、その後の経済不況・各種の戦争・戦後の混乱期など、暗い時代を人の心の支えとして、歌い継がれてきました。これが李さんの言う、宗教的情操の日常性と言う事でしょうか。

その 3、夕焼け小焼けは、戦前のものですが山折さんは、戦後の作品の例として『夕鶴』をとりあげています。ご存知、木下順二さんの脚本です。



だいぶ昔の事ですが、天羽高校演劇部の夕鶴が話題になった事があります。佐貫の内野美三夫さんが百姓与ひょうで好演し、鶴つうは、湊から大貫に嫁いだ平野恵美さんが演じ、その美しさが評判でした。

話は、百姓与ひょうが鉄砲で撃たれた鶴を救う、やがて鶴は美しい女房つうとなり恩返しに自分の羽で布を織る。与ひょうは、次第に欲を出し又、悪い仲間もいてもっと沢山織れと要求する。鶴は、人間のエゴイズムに失望し美しい夕焼けの中、天上に帰る。与ひょうは、大事なものを失った事に気づく。



日本各地に民話として残る『鶴の恩返し』の話です。木下順二は、日本各地を歩き、調べたようで、最終的に佐渡の民話を取り上げたそうです。大きく輝く美しい日本海の落日

に感動したからだと言います。又それは、落日信仰であり、宗教的情操にも繋がると言う事でしょう。

以上、山折哲雄さんの講演の一部を紹介しました。世の中には、殺人・いじめ・汚職など沢山の問題があります。だからこそ、宗教的情操を培う必要があると言う事でしょう。無神論者の私が仏教に関心を持ったのは年齢のせいでしょうか。

編集後記

今号を発刊するにあたり、千葉会員に急遽寄稿をお願いいたしましたところ、快く引き受けていただきました。

また、その内容たるや、千葉先生の引き出しの大きさと深さに、改めて尊敬の念を抱きました。

決して無神論者ではなさそうな千葉会員のメッセージ性の高い寄稿にふれ、漠然としか捉えていなかった、“夕焼け小焼け”や“赤とんぼ”や“夕鶴”を改めて我が子に聴かせ、読ませたいと思いました。

wordで原稿を起こす際に、もしかしたら、間違いがあるかもしれませんが、ローターの友情をもちましてお許し下さい。

会報委員会では、常に寄稿をお待ちしております。

突然お願いする際でも、千葉会員同様快くお引き受け下さい。今後とも御協力をお願いいたします。